

研究利用管理番号

1703004-02

研究内容の説明文

臍帯血提供者説明用課題名 (括弧内は申請課題名)	保存さい帯血の適正な数の算出に関する研究 (「骨髄バンクおよび臍帯血バンクの最適なドナープールサイズの最適化に関する検討」)
研究期間	2017年11月1日 から 2021年3月31日まで
研究機関名	慶應義塾大学医学部血液内科
研究責任者職氏名	准教授 森毅彦

研究の説明

1 さい帯血情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供される場合はその方法含む。）

この研究ではさい帯血そのものの提供を受けることはなく、さい帯血に付随する情報のみを用いて研究が行われます。

研究の目的は、現在、さい帯血バンクが保存するさい帯血の数で造血幹細胞移植が必要な患者さんにさい帯血移植が可能な確率の算出と、またその確率が十分でないと判断された場合には保存されるさい帯血を増やすためにどのような活動が必要かの検討です。

移植するさい帯血の選択には、患者さんとさい帯血の白血球の型（ヒト白血球抗原：HLA）が適合しているか、さい帯血に含まれている細胞数が移植するために十分あるかどうかを基準になることから、ある時点で移植用として選択可能な全てのさい帯血のHLAや細胞数などの情報から、実際の移植予定の患者さんの情報と照らし合わせて、どの程度の患者さんにさい帯血移植が可能かを算出し、その数が少なかった場合、どのような活動を行えば確率が増えるのかを検討します。

2 さい帯血バンクから提供される試料・情報の項目

提供を受ける情報はHLA、有核細胞数、造血幹細胞数（CD34陽性細胞数・CFU-GM数）となります。なおこれらの情報には個人が特定可能な情報は含まれておりません。

3 さい帯血等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

HLA 研究所：田中秀則

4 さい帯血提供者又はその代理人の求めに応じて、さい帯血提供者が識別されるさい帯血・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について

さい帯血バンクから個人を認識できないように匿名化し提供されるため、提供後は利用を停止することができません。しかし、臍帯血バンクから提供される前は、研究利用への停止は可能です。

5 4のさい帯血提供者又はその代理人の求めを受け付ける方法

情報の提供に関して、ご不明な点や申し入れなどがある場合には日本赤十字社近畿さい帯血バンクが受け付けの窓口となります。

本研究に関する問合せ先

所属	慶應義塾大学医学部血液内科
担当者	森 毅彦
住所	東京都新宿区信濃町3-5
電話	03-3353-1211 (内線 62385)
Mail	tmori@a3.keio.jp